

# 改善事例

『配線トンネル工法』で品質向上  
と後戻り工事の減少

ダイケンエンジニアリング株式会社

# 改善事例紹介

従来工法での不具合を減少させたい。



# 従来工法の不具合①

- 電線とLGSランナーが接触し、振動により配線が切れる恐れがある。



ランナーに接触。  
配線が切れる！

# 従来工法の不具合②

- LGSランナーをピンで打ち込み固定する際のコンクリートの欠け

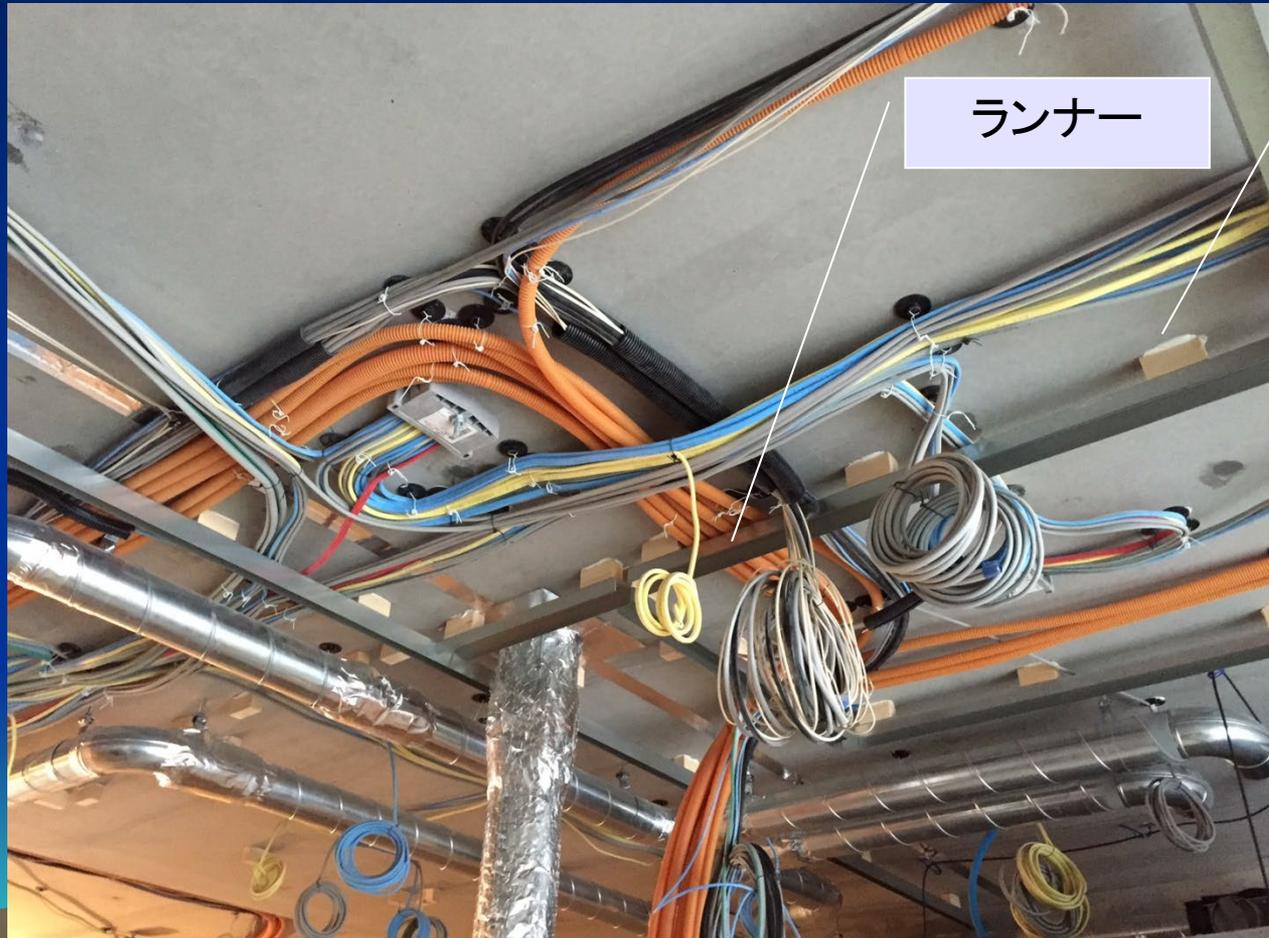


ランナーをピン打  
固定する際のコン  
クリートの欠け

従来方法の問題を解決する  
良い方法  
は…？



# 改善方法 (配線トンネル工法)



ランナー

プラレン  
が

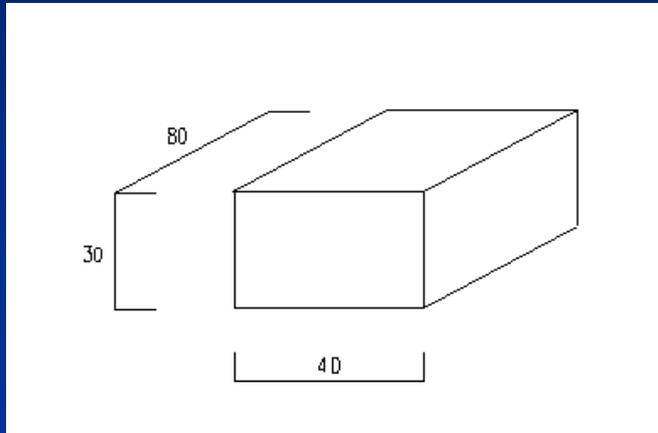
# 改善方法

## (配線トンネル工法)

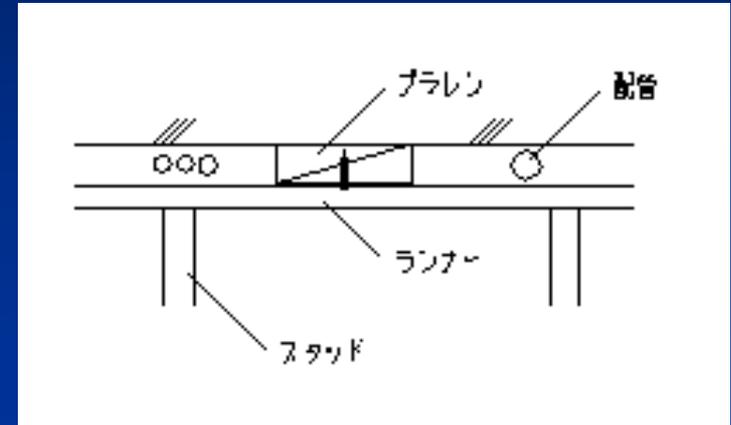
- 先行して施工してある電気配線の間にはプラレンガを取り付けて、ランナーを取り付ける。
- 電気配線はランナーの裏にくるので、接触して振動により配線が切れることはない。
- 躯体ではなくプラレンガにランナーを取り付けるので、コンクリートが欠けることは無い。

# 改善方法 (配線トンネル工法)

- プラレング



- 断面図



# 施工例



# 施工例



# 改善提案のメリット

- ランナーを取り付ける際、打ち込みピンを使わないので、躯体を痛めない。
- 打ち込みピンを使用して躯体が欠けた場合の補修が無くなる。
- 電気業者がランナーと干渉している電線を処理する手間が省ける。
- 電線の瑕疵工事の減少。
- 電気工事を先行して進められる。

# コスト検証

- プラレンガの取り付け 1戸当り 5,000円
  - 電気業者の電線処理 2H × 2,500円 = ▲5,000円
  - 左官屋による躯体補修 1H × ¥2,500 = ▲2,500円
  - 電線の瑕疵工事減少 = priceless
  - 電気配線の先行工事 = priceless
  - 品質向上 = priceless
- コストダウン ▲2,500円

- 電線の瑕疵工事減少  
= priceless
- 電気配線の先行工事  
= priceless
- 品質向上  
= priceless

実際は左記項目特に品質向上の費用対効果が多いと思われる！

